

第15回 フリートークの会

平成19年6月12日 出席者6名

副院長 なにか変わったことは無かったですか？ 楽しい話題から話しましょうか。

Aさん 楽しい話題！ 楽しい話題はね～毛が生えてきました。(笑い)

Bさん 先生、私この前、岩盤浴に行ってきたんですよ。福島なんですけどね。そこは放射線がなんとかって、放射線でね、がん細胞をやっつけるんですけど、正常な細胞もやっつけるでしょ？ そのへんはどうなんですか。

副院長 ラジウム温泉のことかな？ それは微量の電磁波だと思うんだよね。微量の電磁波は周波数によっては細胞を増殖させたり抑制させたり、両方に働くことがあるようですね。おそらくああいいうラジウムなんかの温泉に入ったり、温泉水を飲むとがんに効きますよってというのはほんとに微細な電磁波ががん細胞を正常化の方向へ持っていこうという働きをしてるんじゃないですか。

Bさん そういえばお湯がすごく熱いです。46度くらい。

副院長 そういう実験は前からあるんですけど、なかなか現代医学的に証明されないから。アメリカなんかではハンドヒーリングとかいってね、日本や中国で言う氣功師のようなね、手のひらから気を出すというような、電磁波のようなものだと思うんですけど、それががん細胞に作用すると正常になるというようなね。そういう働きがあるらしいですよ。そういう実験があるんだけど、それは今の科学のベースには乗らないから完全には証明されてはいないんです。

Cさん はっきり証明できないんでしょうか？

副院長 それはできるかもしれない。がん細胞を持ってきて実験すればね。それはそれで1つの証明になるでしょうけど、1つや2つそういう事実があったとしてもすぐに全て認められるわけではないでしょう。

話は飛びますが、中村天風という人物の名前を聞いたことありますか？ この人が生まれたのは明治の初期です。で、日清戦争とか日露戦争で日本のスパイとして中国大陸を渡り歩いて、中国語はもちろんペラペラですごい人なんだけど、その後アメリカで医学の勉強をして英語もペラペラで、ヨーロッパに行って活躍するんだけどその途中で結核になっちゃってね、昔は結核になったらもうおしまいという時代だから、どうせ死ぬんだったら日本で死のうと思って船に乗って、その船の中でたまたまヨガの大先生と会ったらしいんですよ。で、その先生にだまっておれについて来いと言われて、どうせ死ぬんだからもういいやって思ってインドまでついて行って、その先生のもとで修行してね、そうしているうちに結核も治っちゃってね、死んだのは90歳を過ぎてから。その修行で得たものなんかを本にしています。最近、ふと思いついてその本を読み返してみると、人間、気持ちっていか人生って積極的にいくと見えない力

を引っ張り込んでいってそのようになっていく、俺の人生、もうダメだと思えばとそういうふう
に自分を落としていってしまう、だから健康も積極的にポジティブに生きることによって手に
入れることができるんだよと、そういうことが書いてあります。

Dさん 気で治すっていう感じなんですかね。

副院長 そう、本人はそう言ってますよね。気で治す、だって奔馬性結核なんていったらもう治らない
病気でしたから当時は。抗生物質もないし、死を待つしかない病気ですよね。
中村天風の本はいろいろ出ていますから、興味のある方は読んでみても面白いと思います。

Dさん 気で治す先生っていらっしゃるんですね。

副院長 そう、気の力で病気がよくなるってことはあるんですね。もちろん全部ではないんですが、
可能性はゼロではないんですね。でも再現ができないんですね。例えば同じ病名で同じよ
うなグレードの患者さんに同じような効果があるかということそれはわからない、だから評価は
できない。そのへんのところが難しいですね。

Eさん 先生、友達が水素が入ったお水を飲むとがんに効くとか、しみがなくなるとか、やせるとか言
うんですけど、どんなもんなんですか？

副院長 う〜ん、何か特別な水なんですかね。ある種の水を飲むと身体に良いということはあるよう
です。人に効いたから自分にも良いかはわからない、でも効くと思えば飲むことは悪いことでは
ないでしょう。

Eさん そうですね。

Aさん 先生、私5月末ごろから腰痛で骨転移のことが心配なんですけど、実は5月のはじめに主治医
の診察を受けたんです。マーカーがちょっと上がったんですけど誤差の範囲でしょうということ
で3ヵ月後の8月に再検予定なんです。今調べてもハッキリしないだろうっていう感じで言
われるんですけど、でも私としては不安なから調べて欲しいという気持ちもあるんです。
でも精神的にちょっと悩んでるところがあるからそのせいじゃないの、気のせいではないのつ
て受け取られているところが多分あって、でも安心させてもらえるとぜんぜん違うと思うの
と、言葉でもう少し違う言い方をしたいというのがあるんですけど…

副院長 骨転移の心配をしてらっしゃるんですね。主治医はもし骨転移を疑うならマーカーがもっと上
がってくるはずだから、今の時点ではそこまでの検査は必要ないというわけでしょう？ でも
不安だというなら早めに検査を受けられたらどうですか？ 3ヵ月後を待つんじゃなくて。不
安な気持ちを抱えている方が身体にはよくないから、自分で納得の行く道を選んでいくこ
とだと思いますよ。ちなみにストレスが続くと腰痛の原因になることがありますよ。

Aさん　そうですか。それを言わせない雰囲気は主治医に感じられたんです。先生が変わられたんです。だから今までの経過をきちんと話してわかってもらいたいと思ってまとめていろいろお話ししたときに、あなたは敏感なんですねっていうふうに判断されてしまって。8月に仕事に出るものですから、今後注意することもまとめて聞いておきたかったんですけど、あなたは心配のしすぎて言われてしまって。独自で調べてください、私は調べる気はないからって先に言われちゃったので、それ以上のことが言えなくなってしまったんですね。

副院長　主治医と上手にコミュニケーションをとることも長期的に見て大切なことですよ。あなたの場合は自分で安心できるように8月を待たないで検査の予定を入れてもらうとか、積極的に行動した方がよいでしょう。

Aさん　腰痛もそうなんですけど、骨粗しょう症も心配なんです。それでその検査のときに骨転移があるかどうか調べてくださいって言えるかなと思うんですけど。

副院長　あれこれ心配しないで骨粗しょう症も含めてリクエストして調べてみてはどうですか。医者立場からしたら医学的には8月の検査でいいですよ、いま調べてもあまり意味はないですよ、ということになるんですが、あなたの気持ちとしたらすごく重要なことなわけで、心配が続くということは身体にとってよくないことなから、その方が安心の方向に向かうということならやったほうがいいでしょう。あなたの希望ということでリクエストすればいいと思いますよ。